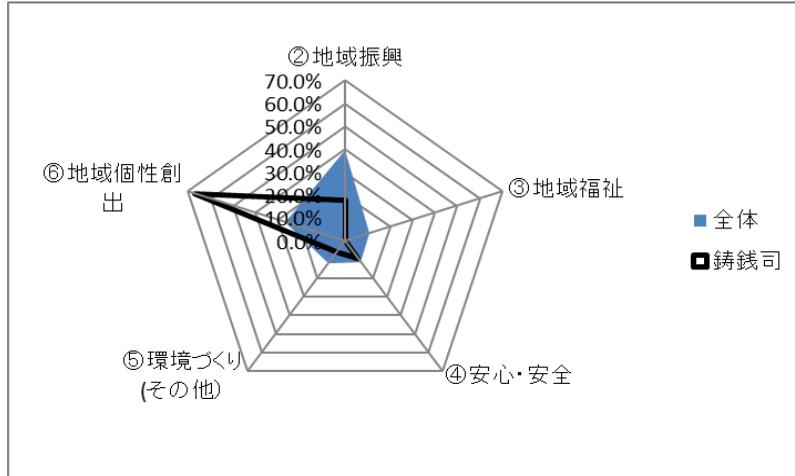


鑄銭司自治会 地域づくり交付金事業概要(令和元年度)

■地域の情報

地域人口	2,904人	自治会数	18
世帯数	914世帯	自治会加入率	81.8%

※数値は、令和2年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	12,150,000 円
交付金決算額	12,150,000 円
その他収入	136,036 円
交付金決算額／配分額	100.0%

各分野の決算

①協議会運営	4,725,713 円
②地域振興	640,608 円
③地域福祉	0 円
④安心・安全	331,979 円
⑤環境づくり(土木工事)	3,957,000 円
⑤環境づくり(その他)	218,915 円
⑥地域個性創出、地域学習	2,411,821 円
決算総額	12,286,036 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

「みんなでつくろう 明るい鑄銭司」をキャッチフレーズに、地域住民と各団体が協力して住みよい地域づくりを推進する。

■総括

第2次地域づくり5カ年計画の最終年であり、環境整備や伝統文化の継承など、第1次計画からの継続事業については順調に実施することができた。第3次地域づくり5ヶ年計画については、平成31年(令和元年)度の計画を踏襲しながらこれまでの反省を踏まえてしっかりと策定する。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長・事務員給与、事務費
② 地域振興	地域情報発信事業、地域振興・交流事業
③ 地域福祉	—
④ 安心・安全	犯罪に備える設備等の充実事業、防災活動推進事業、交通安全推進事業
⑤ 環境づくり	土木工事(法定外公共物)、環境整備事業
⑥ 地域個性創出	地域資源PR事業、伝統文化の継承 《地域学習事業》郷土読本の制作事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	地域学習事業	決算額	1,727,000円
	目的	地域を知り、誇りをもって次世代につなぐ。		
	実施内容	郷土読本「鑄銭司」の更新		
	実施時期	4月～3月		
	参加人数	19人・750世帯		
	成果	編集委員19人が中心となり、山口市などの協力を得て、郷土読本「鑄銭司」の更新版を完成することが出来た。		
	評価	28年前に発行された郷土読本「鑄銭司」の内容を現代に合うように更新し、郷土本として地域の財産とすることが出来た。		
	今後に向けて	鑄銭司小学校で郷土本として活用するとともに、鑄銭司地域の全戸に配布して、地域を知り、誇りをもって次世代につなぐ取組みを行う。		
②	事業名	地域資源PR事業	決算額	299,338円
	目的	後世に残すべく貴重な資源の発掘		
	実施内容	地域行事と地域資源を載せたカレンダーの制作		
	実施時期	3月		
	参加人数	750世帯・51社・14施設		
	成果	地域に関連する史跡写真が入った、地域行事の予定を記載したカレンダーを750世帯、51事業所、14施設に配布した。		
	評価	地域行事日程を知ってもらうことで、自治会活動への理解と協力を得られ、同時に地域内の史跡について若い世代に再認識してもらえた。		
	今後に向けて	地域の主要な行事が確認できるカレンダーとして、地域行事や活動に参画する人の拡大につなげていく。		
③	事業名	地域振興・交流事業	決算額	543,689円
	目的	行事を開催することにより、幅広い層の参加者の確保及び地域住民相互の連携強化を図る。		
	実施内容	①地域行事等の運営の支援 ②地域と企業との交流事業開催		
	実施時期	①11月 ②1月		
	参加人数	①1200人 ②58人		
	成果	①地域最大のイベントである、ふるさとまつりを共催し、地元企業と地域住民相互の交流が図れた。また、まつりの中で地域功労者4名を表彰した。中山間事業の一環として益次郎豆腐を販売した。恒例となったクリスマスイルミネーションフェスティバルには、子供を中心に約200人の参加があった。その後、12月1日から翌年1月13日までイルミネーションを点灯し、地域内外から多くの人々が訪れたことにより地域が盛り上がった。 ②新年互例会を開催し、詩吟や舞踏、鑄銭司第二団地についての説明などで、大いに盛り上がった。		
	評価	①まつりで功労者を広く紹介し労うことができた。また、益次郎豆腐を販売したことで、地域の特産品としてPRすることができた。 ②地域内企業と地域住民との交流事業が継続出来ており、地域づくり活動への理解と協力が得やすい場づくりとなった。		
	今後に向けて	①地域づくりに貢献された個人・団体の表彰を続けていく。 ②地域内企業と地域住民との交流事業を継続するとともに、参加企業の拡大を図っていく。		